

令和2年度 事業報告書



社会福祉法人 まごころ

社会福祉法人まごころ 令和2年度事業報告書

社会福祉法人まごころ 理念

ひとりひとりの豊かな人間観の実現

1. 令和2年度のまとめ

今年度は、新型コロナウイルスまん延防止のために対応を続けた1年となりました。ご家族の面会禁止やボランティアの受入れ中止を継続、活動制限や自粛による事業計画修正、イベント中止などをせざるを得ませんでした。

当法人でも、デイサービスを利用されている方が、他法人のデイサービスを利用中に感染され、お亡くなりになるといった非常に悲しいできごとがありました。心からご冥福を祈るばかりです。そのほかにも、従業員のご家族が罹患され、濃厚接触者となり、2週間の自宅待機を余儀なくされる等々、他人ごとではなく、すぐそばに大きなリスクがあると実感しながらの運営となりました。

そんな中でも在宅部門が、昨年度より大きく稼働率を上げられたこと、入居部門は、入院が続き、昨年度よりも稼働率が下がる厳しい状況ではありましたが、高い稼働率をキープすることができました。

地域との連携は、コロナ禍となり、積極的な取り組みはできず、予定していた多くの企画は中止となりましたが、実習生の受入れは、今後の介護や看護を担う生徒の皆さんにとって大事な経験となる部分でもあることから、しっかりと感染症対策をしたうえで受入れを継続いたしました。各学校からも実習内容も含め、高く評価をいただいております。更に、実習にきた1名が採用にまでつなげることができました。

職員の離職率も下がってきておりますが、まだまだすべきことはたくさんあります。「まごころタウン*静岡」だけでなく、「まごころタウン*新百合ヶ丘」の工事も本格的に始まり、来年度のオープンに向けての準備が進められております。志をもった人財の採用とその志が実現し、職員が生き生きと働ける環境を更に充実できるよう来年度も注力してまいります。

本年度事業を一定の成果を上げ、ご報告できますのも、多くの皆様のご協力の賜物と感謝しております。

2. 令和2年度の主要事業

(1) 主な決定及び実施事項

本年度は「まごころタウン*静岡」の事業運営の安定化、サービスの質向上を目指して、次のような活動を行ってまいりました。※()内協力者

2020年 4月	1日	入職式
	15日	判定会
	29日	フィリピンのおやつ企画 (5.6番街)
	ユニット毎	お花見昼食会
5月	13日	餃子レク (7.8番街)
	15日	防災訓練

	19日	監事監査
	20日	判定会
6月	9日	理事会（書面開催）
	15日	判定会
	17日	床に関する第1回裁判
	24日	定時評議員会（書面開催）
	29日	シャトレーゼおやつレク（5.6番街）
	ユニット毎	5周年ランチバイキング
	22日～7/25日	中村学園 福祉医療専門学校2年生 介護実習
7月	15日	判定会 災害連絡訓練
	17日	ネイルとメイクでリフレッシュ（5.6番街）
8月	8日	臨時理事会
	19日	判定会
	ユニット毎	流しそうめん
	ユニット毎	手持ち花火イベント
	3日～9/11日	静岡福祉大2年生 介護実習
	3日～9/18日	静岡福祉大3年生 介護実習
9月	ユニット毎	手持ち花火イベント
	ユニット毎	敬老会
	2日～4日	中村学園 福祉医療専門学校1年生 介護実習
	14～18日	常葉大 看護実習
10月	7日	結核健診
	14日	床に関する第2回裁判
	21日	判定会
	15日 22日	インフルエンザ予防接種
	23日	焼き芋大会（でい）
	28日	「まごころタウン*新百合ヶ丘」地鎮祭
	29日	EPA巡回訪問（WEB）
	ユニット毎	ハロウィン
	19日～11/13日	中村学園 福祉医療専門学校2年生 介護実習
	6日～15日	常葉大 看護実習
11月	6日	防災訓練
	11日	綿菓子作り（9.10番街）
	13日	さつまいもレク（11.12番街）
	18日	判定会
	15日	災害連絡訓練
	25日	法人監査（実地）施設監査（書面）
	25日	判定会

	26日 ユニット毎	さつまいもレク (9.10番街) 握りずし
12月	18日 22日 ユニット毎 1日～10日	判定会 お好み焼き作り (7.8番街) 理事会 (書面) クリスマス 常葉大 看護実習
2021年 1月	1日 15日 29日 18日～30日 13日～21日	おせち食事 災害連絡訓練 判定会 中村学園 福祉医療専門学校1年生 介護実習 常葉大 看護実習
2月	3日 24日 9日～18日	節分豆まき カップラーメンおやつ (9.10番街) 常葉大 看護実習
3月	6日 15日 17日 23日 26日	静岡県モンゴルセミナー参加 災害連絡訓練 フィリピン料理作り (9.10番街) 理事会 (WEB開催) ドミノピザ「無料ピザで地域支援」

(2) 職員の状況

今年、昨年に比べると退職者 29%減とすることができました。採用に関しても、全体の職員数、16.1%アップと適正な人員に近づけることができております。

ただ、退職者が減ったとはいえ、まだ出てしまっているのも現実であり、まごころ Q12 も目標の 3.5 を一度は達成するものの、その後は 3.4 が続いています。来年度も辞めない仕組み作りを継続してまいります。

2021年3月31日現在 職員内訳 (昨年比)

正職員 62名 (5)

非常勤職員 39名 (9)

派遣 20名 (△2) / 計 121名 (12)

入職員数 正職員 14名 (△1) 非常勤職員 21名 (6) 派遣 7名 (△4)

計 42名 (3)

退職職員数 正職員 9名 (△7) 非常勤職員 11名 (△3) 派遣 7名 (△1)

計 27名 (△11)

(派遣職員退職は契約満了によるもの)

まごころ Q12 実施結果

	202004 平均	202007 平均	202010 平均	202101 平均
総計	3.4	3.5	3.4	3.4

3. 法人概要

- (1) 法人名： 社会福祉法人まごころ
- (2) 所在地： 静岡県静岡市駿河区弥生町 4 番 26 号
- (3) 設立日： 平成 26 年 5 月 2 日
- (3) 代表者： 理事長 増田正寿
- (4) 役員： 理事 6 名、監事 2 名、評議員：7 名

理事	理事長	増田正寿
理事	施設長	原崎伸治
理事		三重野隆志
理事		田崎裕美
理事		佐塚賀一
理事		青柳直樹
監事		伊代田雄大
監事		浦田潤一
評議員		九戸栄介
評議員		小山圭子
評議員		沼田直樹
評議員		山崎敏弘
評議員		島 俊和
評議員		倉田明紀
評議員		吉永 功

(5) 基本財産概要

①土地

静岡市駿河区弥生町 679 番 3	一筆	793.69 m ²
静岡市駿河区弥生町 679 番 4	一筆	1.91 m ²
静岡市駿河区弥生町 679 番 6	一筆	13.61 m ²
静岡市駿河区弥生町 682 番 3	一筆	830.65 m ²
静岡市駿河区弥生町 682 番 4	一筆	115.12 m ²
静岡市駿河区弥生町 683 番 1	一筆	1,591.22 m ²
静岡市駿河区弥生町 683 番 4	一筆	289.06 m ²
静岡市駿河区弥生町 704 番 8	一筆	142.93 m ²
静岡市駿河区弥生町 704 番 19	一筆	6.15 m ²
静岡市駿河区弥生町 704 番 20	一筆	5.65 m ²
計 10 筆	合計	3,789.99 m ²

②建物

静岡市駿河区弥生町 679 番 3 他 家屋番号 683 番 1

養護所 鉄筋コンクリート造陸屋根合金メッキ鉄板ぶき 4 階建建物 5,399.77 m² 及び附属建物
(倉庫 鉄骨鉄骨造合金メッキ鉄板ぶき平屋建 20.61 m²)

4. 法人運営状況

(1) 理事会 (開催回数 3 回)

①第 1 回理事会 令和 2 年 8 月 18 日 (火) 11 時 00 分から 12 時 00 分

出席者：理事 増田正寿、原崎伸治、三重野隆志、田崎裕美、佐塚賀一

監事 伊代田雄大

欠席者：理事 青柳直樹

監事 浦田潤一

場 所：特別養護老人ホーム まごころタウン*静岡 地域交流室

議 案：第 1 号議案 まごころタウン*新百合ヶ丘の建設について

第 2 号議案 借入金に関する担保物件について

第 3 号議案 借入金に関する連帯保証人について

第 4 号議案 特別養護老人ホームまごころタウン*新百合ヶ丘建設工事入札について

第 5 号議案 特別養護老人ホームまごころタウン*新百合ヶ丘国有地見積もり合わせ
について

②第 2 回理事会 令和 2 年 12 月 23 日 (水) 決議の省略

出席者：理事 増田正寿、原崎伸治、三重野隆志、田崎裕美、佐塚賀一、青柳直樹

監事 伊代田雄大、浦田潤一

場 所：書面

議 案：第 1 号議案 令和 3 年度業務委託契約の更新について

第 2 号議案 令和 2 年度第一次補正予算(案)について

第 3 号議案 経理規程変更について

第 4 号議案 定款細則別表追記について

③第 3 回理事会 令和 3 年 3 月 23 日 (火) 10 時 00 分から 12 時 00 分

出席者：理事 増田正寿、原崎伸治、三重野隆志 (WEB)、青柳直樹 (WEB)

監事 浦田潤一 (WEB)

欠席者：理事 田崎裕美、佐塚賀一

監事 伊代田雄大

場 所：特別養護老人ホーム まごころタウン*静岡 地域交流室

議 案：第 1 号議案 社会福祉法人まごころ令和 2 年度 2 次補正予算(案)について

第 2 号議案 社会福祉法人まごころ令和 3 年度資金収支予算書(案)について

第 3 号議案 社会福祉法人まごころ令和 3 年度事業計画(案)について

第 4 号議案 次期役員を選任について

第 5 号議案 次期評議員を選任について

- 第 6 号議案 次期評議員選任・解任委員の選任について
- 第 7 号議案 インフィック株式会社派遣包括契約の見直しについて
- 第 8 号議案 次回評議員会開催について

(2) 評議員会（開催回数 1 回）

①第 1 回定時評議員会 令和 2 年 6 月 23 日（火） 決議の省略

出席者：評議員 小山圭子、沼田直樹、山崎敏弘、島 俊和、倉田明紀、吉永功
九戸栄介

欠席者：監 事 伊代田雄大、浦田潤一

場 所：書面

議 案：第 1 号議案 令和元年度決算報告について

5. 施設運営状況

○年度事業方針

以下取り組み状況を※にて記載いたします。

1. 安定経営のための収益の確保

- ・運営資金の返済が今年度途中で完済するため、まごころタウン*新百合ヶ丘開設資金の確保のため、事業予算の必達と必要な当期活動増減差額を確保します。また、まごころタウン*静岡も開設 5 年となり、修繕の必要な個所、金額も増加しており、今後も見据え修繕費用等の積み立て計画を作成していきます。

目標当期活動増減差額：5,000,000 円/月以上、最低 3,700,000 円/月

※当期活動増減差額 令和 2 年度平均：1,704,875 円/月

(20,458,501 円/年)

令和 2 年度末支払い資金残高累計（前期末比較）：△9,634,948 円

上記となり、目標値が達成できておりません。原因として、新百合ヶ丘の費用を計上していなかったこと、コロナ禍での衛生用品を中心とした消耗品費用のアップ、派遣職員の人数を計画通りに改善ができなかったため人件費が当初予算を上回ってしまったためとなります。

- ・（仮）まごころタウン*百合ヶ丘の開設のための基本財産、まごころタウン*静岡の今後を見据えた修繕費等の積み立て計画の検討をします。

※経費の見直しと改善目標の設定をしております。修繕に関しては今後の修繕見込みの検討をしております。

2. 安心して働ける、やりがいのある職場作りをします。

- ・まごころ Q12 平均値：3.5 以上に引き上げる

※まごころ Q12 は、3.5 に一度は達したものの、その後また 3.4 となっております。サークル活動の充実や、入職者へのプリセクター制度の実施、セッションの実施など、引き続き職員とのコミュニケーションを計画的・効率的にとって参ります。

- ・各ユニット介護職員を常勤換算 9 名の確保と維持をします。

※特養、ショート、デイの人員は概ね確保できておりますが、各ユニットでのバランスや経験やスキルによるバラツキ、派遣への依存もあり、異動も含めて検討を続けていきます。

- ・介護ロボット、ICTの導入や活用を積極的にして介護現場の負担や疲弊感の軽減だけでなく、より働き甲斐や魅力ある職場作りを推進し、より良い人財の採用につなげます。
- ・現在、導入済みのLASHICの活用の幅を広げ、より効果を上げていきます。

※介護記録ソフト「ケアカルテ」の使用方法にも慣れ、活用もできてきております。データの活用方法は、今後も検討が必要であるため、多職種でディスカッションを続けてまいります。

LASHICに関しては、離床アラートの活用により、転倒の防止につながっております。

- ・安定した外国人採用（留学生・EPA・特定技能）と、採用後の教育システムを構築します。

※EPAに関しては、コロナ禍で2020年度候補生の入国が遅れており、本来、昨年12月より就業予定でありましたが、今年の5月の入国予定となっております。

2018年度の2名は、日本語学習は一定の習得ができたため、介護福祉士合格のための学習にシフトしてきております。年度当初に初任者研修も受講し、資格取得をしております。2019年度入国の1名は、日本語の理解に少し苦労はしておりますが、日本語講師とも連携を図り、より理解しやすい授業に修正しております。

留学生に関しては、3名が日本語学校を卒業し、来年度からは、特定技能実習生として就業することとなりました。5年間で介護福祉士に合格できるよう、新たな支援体制を構築してまいります。

3. 職員の主体的な活動ができる環境作り

- ・事業理念の共有を更に図り、理念実現のため自分で考え行動できる組織にします。

※毎朝の理念唱和をすることや、判断に迷う場合も理念に立ち返り、理念に即した判断ができるように指導してまいります。

また、評価制度において、各自の行動目標を設定し、理念実現のための取り組みをしております。

- ・個々の職員がお客様に寄り添い、お客様のしたいことを知り、その実現のために研修・勉強会に参加する機会を増やし、想いと共に技術と知識を高めます。

※勉強会への参加率を上げるため、勉強会企画担当の再編を図り、開催のお知らせや出席の確認、毎月の参加率の公表をすることで、全体の参加率が大きく向上しております。

- ・職員同士の挨拶と声掛け、コミュニケーションが、より明るく活発にできる職場を作ります。

※コロナ禍で、望年会を始め、福利厚生イベントも中止をしておりますが、まごころスポーツサークルを発足させ、コロナ対策をしたうえでの、職員の交流やリフレッシュする機会を作ることができました。

- ・職員一人一人が主人公となるよう役割の明確化と権限委譲を進めます。

※まずはユニットリーダーのすべきことを明確にし、ユニットですべきことの実現のための権限移譲を進めることができました。

今後は、各スタッフ一人ひとりまで、やるべきことを明確にし、自分の判断のなかでケアをしていけるようしてまいります。

4. 職員全員が地域の一員として情報発信に努め交流を深める環境作り

・地域に特別ではなく、あって当たり前前の事業所となるよう日頃からの交流を積極的にしていきます。

※コロナの影響で、自治会の防災訓練や草刈りの中止、連合自治会の敬老会の縮小もあり、なかなか地域の方々との交流をする機会が減ってきておりますが、実習生の受入れ、自治会長様との連絡に力をいれております。

・常葉大学と学生との交流など、地域にある社会資源として連携を図り地域貢献をします。

※コロナ禍で機会は減少していますが、実習などをきっかけに関りを増やすことができきております。

・スマイルセミナーを3ヵ月に1回開催し地域の介護力の向上と地域貢献に努めます。

※今年度もコロナ禍でスマイルセミナーの開催は中止とさせていただきました。

来年度は、Webでの開催を検討していきたいと考えております。

・コミュニティカフェ（まごころカフェ）を毎月開催して交流の場を作ります。

※コロナ禍でまごころカフェも中止しております。Withコロナの実現を目指し、今後のワクチン接種の進捗状況等を踏まえ、開催方法を工夫し、再開していきたいと考えております。

・こども食堂や学習支援を公益事業としての運営を目指します。

※コロナ禍で子ども食堂も中止しております。

○法人目標

1. 新たなサービス、新たな地域でのサービス提供の模索

・中期計画の実現のために（仮）まごころタウン*百合ヶ丘の立上げをします。

※工事に若干の遅れが出てきておりますが、行政とも協議をしながら開設時期を2022年4月で調整しております。採用活動もスタートし、すでに多くの応募をいただいております。

・人財育成として介護職の養成講座（実務者研修・初任者研修・喀痰吸引研修）の開催をします。

※社会福祉法人としての開催はできておりませんが、実務者研修、初任者研修の会場として地域交流室を開放し、法人職員の受講支援をいたしました。

・介護の魅力アップ、働き甲斐につながる講座スマイルセミナーの開催を3ヵ月に1回します。

※コロナ禍で開催は中止とさせていただきました。

・福祉皮膚美容士・おでかけサポーター等の講座開講サポートをします。

※コロナ禍で開催を中止しております。

2. 地域との密な交流

・実習生の受け入れを積極的に行い、地域の介護力のアップと介護の魅力の発信をします。

※1. 静岡女子高等学校

福祉科年生 3名 3月12日(金)

(コロナのため現場実習無し、施設概要など職員から聞き取り学習のみ)

2. 静岡福祉大学

(1) 介護福祉実習Ⅱ 2年生 1名 8月3日(月)～9月11日(金) 20日間

(2) 介護福祉実習Ⅱ 3年生 1名 8月3日(月)～9月18日(金) 25日間

3. 中村学園 静岡福祉医療専門学校 総合福祉学科・介護福祉学科

(1) 第3期 介護福祉実習 2年生 2名 6月22日(月)～7月25日(金) 25日間

(2) 第1期 介護福祉実習 1年生 1名 9月2日(水)～9月4日(金) 3日間

(3) 第4期 介護福祉実習 2年生 2名 10月19日(月)～10月13日(金) 20日間

(4) 第2期 介護福祉実習 1年生 2名 1月18日(月)～1月30日(金) 10日間

4. 常葉大学 健康科学部看護学科

(1) 看護統合実習 3名 9月14日(月)～9月18日(金)

(2) 老年看護学実習Ⅱ 各4名

① 10月6日(火)～10月15日(木) 6日間

② 12月1日(火)～12月10日(木) 6日間

③ 1月13日(水)～1月21日(木) 6日間

④ 2月9日(火)～2月18日(木) 6日間

上記、実習生の1名が令和3年度採用となっております。

・ボランティアの積極的な受け入れ、地域行事等へ参加を入居者様と行い地域の方との交流を進め、地域ぐるみの施設運営を行っていきます。

※コロナ禍でボランティアの受け入れもすべてお断りしております。

・子ども食堂を子ども食堂ネットワーク、常葉大学、サレジオ学園と協力し毎月開催し、子どもの居場作りをしていきます。

※コロナ禍で子ども食堂の開催も中止しております。

・地域の困りごとに即対応できる体制を作ります。

※居宅介護支援事業者や病院との連携を図り、土日対応を含め臨機応変な対応ができています。近隣の方からの飛込での相談件数、申し込みも増えてきております。

・障がい者、高齢者雇用に力を入れ、雇用の機会を増やすだけでなく、より活躍の場を広げます。

※すでに雇用している障がい者にジョブコーチをつけ、ルーチンの見直しや業務改善を図っております。

3. 災害対策

・災害時に早期な事業再開ができるようBCPを策定して万が一に備えます。

※BCPの作成いたしました。

・災害備蓄品の充実を図り、福祉避難所としての機能を発揮できるようします。

※食料以外の追加備蓄の購入と、転倒のリスクのある物の固定をいたしました。

・災害時を想定した、実践的な避難訓練の実施をします。

※コロナ禍で訓練の規模を縮小しての実施となりました。しかし、奇数月の連絡訓練の充実を図ることができました。

4. 外国人の就業支援

・EPA 介護福祉士候補生の日本語教育、介護技術研修等のシステムを構築し、3年後の介護福祉士合格を支援します。

※2018年度入国の2名は、N3合格と介護初任者研修受講ができました。2019年度入国の1名はN4合格ができました。

・留学生、技能実習における外国人労働者の受け入れ体制を構築します。

※フィリピンからの留学生3名が、順調に現場のチカラとなってきております。

今までのノウハウを今後活かすことができる環境が整備されています。

○事業所別目標

① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
空床日数 (日)	前年	6	0	6	2	13	1	6	0	13	15	0	10	72
	今年	2	0	0	6	18	7	24	26	48	26	0	5	162
入院日数 (日)	前年	55	56	86	65	105	33	44	15	46	28	11	54	652
	今年	44	56	53	68	107	85	136	121	135	75	43	58	981
実稼働率 (%)	前年	98.0	96.6	97.1	97.9	96.3	98.9	98.4	99.5	98.2	98.7	99.6	98.0	98.1
	今年	98.6	98.3	98.3	98.1	97.8	97.3	96.5	97.0	97.3	98.5	98.5	98.4	97.9

※稼働率全国平均 94.4 %

1. 安定的・継続的な運営

・お客様の『健康と安全』を常に考え行動できる施設を目指し、「飲んで歩く」の実践の継続をします。

※「飲んで」は常に意識し、当たり前になっております。「歩く」に関しても、機能訓練指導員の個別指導や、ユニット毎の集団体操の定期実施により実践できています。

・なくせる介護事故（服薬事故など）「0」を目指します。

※服薬事故を「0」にしようと、施設全体で取り組んできましたが、残念ながら発生してしまいました。原因の追究と職員の意識向上のため、事故対策委員会を中心に改善を図っています。

LASHICによる離床アラートの活用による転倒防止ができております。ただ、それでも防げない転倒事故による骨折もありますので、事故報告書の共有方法と活用方法の再検討をしております。

- ・お客様の状態把握に努め、地域資源の有効活用として空床・入院時には早期に対応します。

※空床、入院とも昨年実績よりも悪化しており、稼働率も目標の98%にわずかではあります。達成できておりません。原因は、コロナ禍における入居者様の環境変化（ご家族と会えない、行動範囲などの制限などがあげられますが、開所時から入居されている方々が徐々に状態が落ちてきたことも原因のひとつと思われます。

誤嚥性肺炎や尿路感染症予防への取り組みは引き続きできております。

待機者も確実に増えてきており、安定的・継続的な運営になってきております。

- ・多職種連携を図り、安心して生活できる場を提供します。

※多職種会議、カンファレンス、担当者会議の開催をして、情報の共有と各専門職の専門性を有効に発揮してもらっています。

目標稼働率：98%以上⇒実績 97.9%

目標空床日数：3日以内/床⇒実績 7.0日/床

目標入院日数：40日以内/月⇒実績 81.8日/月

2. 教育体制の更なる充実

- ・導入研修（まごころカレッジ・まごころトレーニング）、勉強会を常により良い内容に改善していきます。

※派遣社員も含め、全員のカレッジの受講ができております。内容も大きな変更はありませんが、3日目の特養の部分は、入職者の職種やその時の状況に合わせて伝え方を変えております。

- ・ケアの質の向上のため、アセッサーの育成し、キャリア段位制度の推進を図ります

※アセッサーの再編成と手当の設定をし、アセッサーの意識の向上と内容の充実を図り、キャリア段位試験の実施を順次進めております。

- ・委員会活動を活発化し、委員会中で全員が発言し、充実したディスカッションができる場としチーム力を向上します。

※新型コロナウイルスの流行に伴い、感染症予防委員会での活発な意見交換とフェーズ表の作成ができました。

- ・フロアリーダー、ユニットリーダー教育を充実させ、ユニット力を向上させていきます。

※マネージャー研修を毎月実施し、管理者としての知識とスキルアップを図っております。

- ・ユニット間の交流の機会を増やし、お互いの良いところの共有を図ります。

※コロナ禍であり、積極的な動きは制限されましたが、ユニット間の異動人事を実施したり、他ユニットのフォローに入ったり、リーダー会議でのディスカッションで情報の共有が図ることができました

②短期入所生活介護（ショートステイ）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実延人数	前年	451	458	434	432	475	503	541	524	538	484	489	481	5810

(人)	今年	459	442	458	475	522	533	534	491	526	520	494	513	5967
稼働率 (%)	前年	75.2	73.9	72.3	69.7	76.6	83.8	87.3	87.3	86.8	78.1	84.3	77.6	79.4
	今年	76.5	71.3	76.3	76.6	84.2	88.8	86.1	81.8	84.8	83.9	88.2	82.3	81.8

1. 安定的・継続的な運営

・緊急な依頼、困難ケースも積極的に受け入れます。

※緊急な依頼、困難ケースも積極的に受け入れができました。居宅支援事業所との関係の構築にもつながっております。稼働率が上がった大きな要因となっています。

・地域の居宅介護支援事業所への情報提供を密にし、信頼関係を構築します。

※困難ケースの対応を始め、ケアマネとの信頼関係の構築が進んだことで、問い合わせや依頼が増加し、稼働率もアップしております。

・特養と連携を図り、入所できず在宅で困っている方やそのご家族の一助となります。

※特養の相談員との連携、情報共有が更にスムーズとなったことで、入所ができず、ぎりぎり在宅で生活されているご家族へのアプローチができ、ショート利用することでご家族の一助となっております。今後も継続しショートステイが地域の大きな力となるようしていきます。

ショートを利用してから特養へ入居された方が、令和1年度は7名でしたが、今年度は14名となっております。

目標稼働率：90%/月以上⇒実績 81.8%

2. 個々に満足・安心して頂くサービスの提供

・個々のお客様の在宅での生活を把握し、他サービスとの連携を図ります。

※居宅介護支援事業所、デイサービス、訪問介護事業者など法人内外問わず情報共有を図り、お互いにその方の最良のプラン提案をしております。

・個々のスキルアップを図り、その方々の希望に沿ったサービスの提供をします。

※社内勉強会への参加率のアップを図ることができ、個々に必要と思われる外部研修にも参加できています。ユニット会議でその方をより理解するための情報共有をしております。

・機能訓練の充実を図ります。

※定期的な集団体操、個別機能訓練の実施を図っております。理学療法士と言語聴覚士が在籍しているため、役割が明確となり個別の専門性を発揮しております。

3. チーム力の向上

・職員同士のコミュニケーション量を増やし、個々の役割を明確にします。

※ユニット会議の定期開催と、評価制度による個別ミーティングや研修を活用し個々の役割の確認と進捗の確認をしております。

・多職種との連携を図り、職員一人ひとりでなくチームとしてサービスを提供します。

※ユニット会議での情報の共有と、多職種による会議の開催、委員会への参加での連携により、柔軟性の高いケアができています。

② 通所介護（デイサービス）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実延人数 (人)	前年	271	278	243	277	291	261	281	306	314	287	278	304	3353
	今年	298	298	334	351	332	327	344	343	343	403	403	456	4232
稼働率 (%)	前年	47.9	48.5	48.6	51.3	53.9	52.2	54.0	58.9	62.8	59.8	55.6	58.5	54.3
	今年	57.3	57.3	64.2	65.0	63.9	62.9	63.7	68.6	66.0	84.0	84.0	84.4	68.4

1. 安定的・継続的な運営

・お客様を積極的に受け入れるため、地域の居宅介護支援事業所への情報提供を密にし、訪問回数を増やします。

※人員の配置もできたことで、営業回数のアップとレクレーションやイベントの充実が図れたことで稼働率アップにつながっております。

・介護支援専門員との連携を強める為、お客様の状態変化の報告を密に行います。

※毎月の報告書に加え、デイ便りなどを活用し訪問回数を増やしたことで、お客様の状態変化の報告も密に行うことができきております。

・機能訓練の内容やイベントの周知、福祉皮膚美容の実施状況の報告を新規居宅を中心にしてお客様紹介につなげます。

※デイ便りの内容の充実を図り、イベントや日常の様子や取り組みの発信をすることができお客様紹介につながってきております。

但し、目標にはまだまだ大きな乖離があるため、これらを更に充実したものとし、他事業所との差別化を図り目標達成できるようにして参ります。

目標稼働率：80%/月以上⇒実績 68.4%

2. 個々の希望を叶えるサービスの提供

・機能訓練の充実、福祉皮膚美容の提供の充実を図ります。

※機能訓練メニューの充実と評価をサービス内容に反映、福祉皮膚美容に関しては、施術職員の時間確保と女性を中心に声掛けをしてきております。

・お客様参加型のイベントの回数を増やします。

※おやつレクや毎日の味噌汁作りをお客様が中心に行っていただいております。

・職員のスキルアップの為、研修の充実に取り組みます。

※勉強会への参加、職員会議の内容充実を図り、経験の少ない職員も自信をもってケアできるよう取り組んでおります。また、関連会社のデイサービスとの連携を図り、情報の共有と質の向上のためのディスカッションを行っています。

・お客様の多様な希望を叶えるために、在宅生活の状況把握に努め、その方にあった機能訓練等の実施をし、在宅生活のサポートをします。

※機能訓練指導員が新たに就任したことで、細かな対応も可能となり、送迎時での自宅の環境の確認、それを基にしたリハビリの実施をしております。

・新しい機能訓練プログラムの導入をします。

※バーセル・インデックスを用いての評価をスタートしております。

③ 居宅介護支援事業所

プラン数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	昨年	25	26	26	25	24	23	16	16	16	16	15	16	244
	今年	17	16	16	18	16	15	16	13	15	15	13	12	182
予防	昨年	5	5	5	4	4	4	3	3	3	5	5	4	50
	今年	4	4	5	5	5	6	5	7	6	6	6	6	65
計	昨年	30	31	31	29	28	27	19	19	19	21	20	20	294
	今年	21	20	21	23	21	21	21	20	21	21	19	18	247

1. 安定的・継続的な運営

・スキルアップするための研修への参加をしていきます。

※勉強会への参加、外部研修への積極的参加ができました。

2. 関係機関との連携

・地域包括支援センターや病院などの地域関係機関との連携をより強固にします。

※小鹿豊田地域包括支援センターとは、関係作りは継続できています。

・地域のネットワーク造りを継続し、地域包括ケアの居宅介護支援事業所としての役割を果たします。

※インフォーマルなサービスの情報提供を積極的にし、地域で暮らし続ける提案をしています。

6. その他の重要事項

※ 床材の修繕に関わる裁判がまだ和解には至っておりませんが、設計会社・施工会社・メーカーの3社で修繕をしていただくことは決定しました。工法の検討も進んでおり、来年度の早い段階で和解、修繕工事に着手していく予定をしております。